

関係機関の長 各位

弘前大学大学院医学研究科長 廣田和美
(公印省略)

大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座教授候補者の公募期間延長について (依頼)

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、弘前大学では、大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座教授候補者について、かねてより御推薦を依頼しておりましたが、この度、公募期間を延長することといたしました。

つきましては、御多用中のところ誠に恐縮に存じますが、貴機関または関係方面へ再度周知いただき、適任者がおりましたら下記により御推薦を賜りますようお願い申し上げます。

おって、参考までに「弘前大学大学院医学研究科内分泌代謝内科学講座教育・研究組織に関する提言」(大学院医学研究科教授会承認)を添付しておりますので申し添えます。

謹言

記

1. 募集職種・人員 教授 1名
2. 任 期 10年
※ 弘前大学は教員の任期制を導入しており、大学院医学研究科所属の教授の任期は10年(再任可)となります。
3. 所 属 大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座
4. 専 門 分 野 内分泌代謝内科学
5. 担 当 科 目 大学院医学研究科：内分泌代謝内科学講義・演習・実験実習、医学研究基礎技術実習
医学部医学科：内分泌・代謝学ⅠⅡ、特別教育科目(研究室研修、PBL、総合教育演習Ⅱ、臨床実習Ⅰ・Ⅱ)
6. 採用予定時期 令和 5年 6月 1日以降
7. 待 遇 (1) 給与については、国立大学法人弘前大学職員給与規程等が適用になります。
(2) 労働条件については、弘前大学の定める規程等によります。
8. 応 募 資 格 次の要件すべてを満たす者
(1) 医師で、内科学のうち、糖尿病代謝内科学及び内分泌内科学を中心とした教育、研究及び診療に熱意を有し、かつ、当該領域において先進的医療を実践できる者。
(2) 博士の学位を有し、大学院医学研究科(博士課程)において主指導教員として教育研究指導ができる者。
(3) 国際交流を推進できる者。
(4) 一般社団法人日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価が教員に求める能力を有する者。
9. 応 募 書 類 (1) 履歴書 【様式1】
写真(カラー、4cm×4cm、3ヶ月以内に撮影したもの)を貼付してください。
(2) 研究実績目録 【様式2の1の1～2の7】
以下の区分・順序により記載してください。なお、研究業績目録のうち学位論文には◎印を、主要業績(別刷提出論文)には○印を、応募者氏名にはアンダーラインを付してください。また、欧文原著、欧文症例報告、欧文総説については、掲載年にかかわらず、クラリベイト・アナリティクス社「Journal Citation Reports」による直近のインパクトファクター(IF)値を記入してください。

- ①原 著
- ②症例報告
- ③総 説
- ④その他
- ⑤著 書
- ⑥学会発表（特別講演、宿題報告、シンポジウム、パネルディスカッションなど
主要なもの、及び国際学会）
- (3) 研究教育等実績一覧 【様式3の1～3の5】
 - ①教育実績
 - ②社会及び学会における活動実績
 - ③研究補助金等の実績
 - ④診療経歴
 - ⑤最近5年間に関与した症例50例
- (4) 応募者周辺の方へのアンケート調査に係る同意書 【様式4】
- (5) 教育、研究、診療に対する抱負 【様式5の1～5の4】
 - ①教育に対する抱負
 - ②研究に対する抱負
 - ③診療に対する抱負
 - ④講座運営・地域医療に対する抱負
- (6) 主要業績の別刷（10編以内） 各2部
別刷は、事後に返却いたします。
- (7) 関係者の推薦書
厳封の上、別便で推薦者から直接送付してください。
※ 応募書類（様式等）については、大学院医学研究科ホームページ「教員公募
情報」（<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html>）からダウンロード
できます。

10. 応募期限 令和4年12月26日（月）17時必着（日本標準時）

11. 選考方法 (1) 書類審査
(2) 選考の過程において、応募者周辺の方に対して、応募者の教育、研究、診療、
管理運営の参加の状況等についてのアンケート調査を実施します。また、選
考委員との面接、模擬講義、教育・研究に関する抱負等の発表のため弘前大学に
お越しいただく場合があります。

12. 書類提出先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科内
教授候補者選考委員会 宛
※ 封筒に「教員応募書類（内分泌代謝内科学講座）在中」と朱書きし、簡易書留、
レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残
る方法で送付してください。

13. 問い合わせ先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5
弘前大学医学研究科総務グループ（総務担当） 成田・齊藤
TEL : 0172-39-5194 E-mail : jm5194@hirosaki-u.ac.jp

14. その他 (1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認め
られる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策について
は、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
(ホームページの URL <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
(2) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
(3) 必要に応じて他の学部・研究科等の教育や業務、あるいは教養教育等を担当していただ
く場合があります。
(4) 応募書類により取得する個人情報、本公募による教授候補者の選考及び採用時の人事、
給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提
供することはありません。

令和 4年 6月22日

内分泌代謝内科学講座教育・研究組織に関する提言

1. 講座のあり方と方向性

内分泌代謝内科学講座は、糖尿病代謝内科学及び内分泌内科学に関する教育と高度な専門的医療を行い、地域医療に貢献する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、また、人材の確保に努める必要がある。

2. 診療

高度な糖尿病代謝内科及び内分泌内科診療を中心に、他講座等との連携の下に先進的医療を実践することが求められる。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

4. 研究

上記の診療・教育に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献し、地域の要請にも応えることが求められる。

6. その他

内分泌代謝内科学講座の構成員として第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院における高度医療の中核となるとともに、講座・診療科の機能充実を果たすことのできる人物が求められる。

内分泌代謝内科学講座教育・研究組織提言委員会

廣田和美 (委員長)、大山 力 (副委員長)、水上浩哉
鬼島 宏、富田泰史、田坂定智、袴田健一、富山誠彦